

2024年7月23日

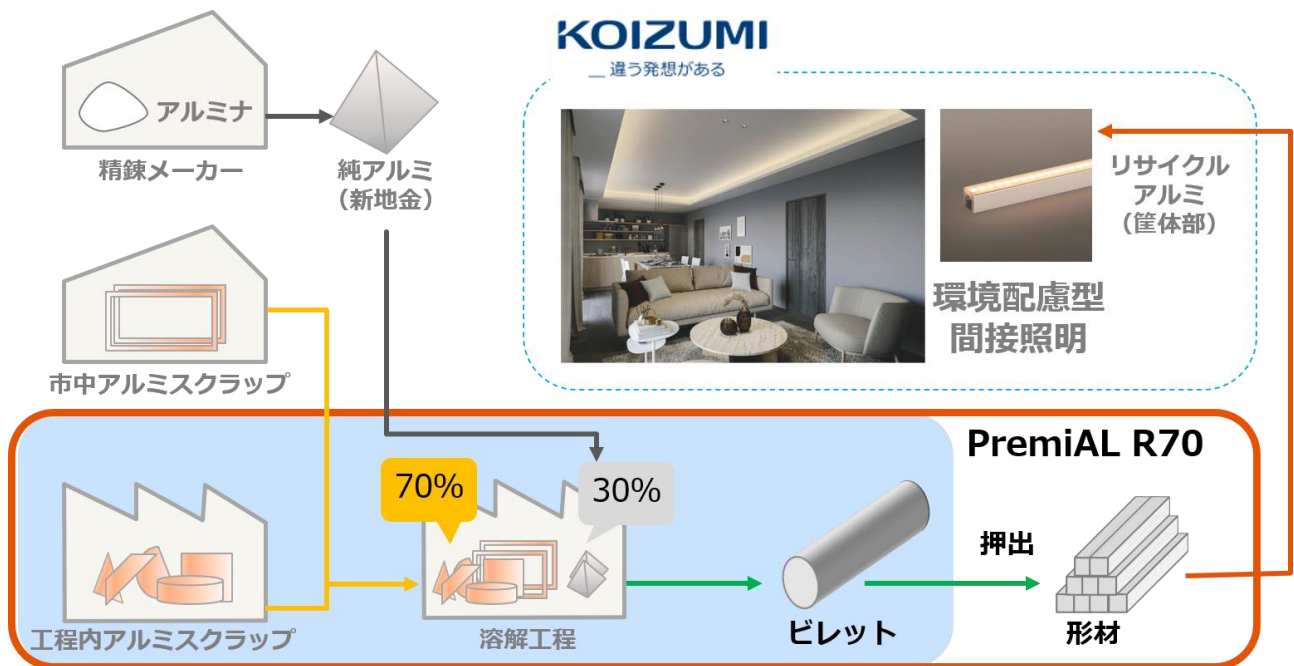
## ライトバー間接照明 (Indirect Light Bar) ミドルパワーに LIXIL循環型低炭素アルミ材「PremiAL R70」を採用

### コイズミ照明株式会社

本社: 大阪市中央区備後町3-3-7  
社長: 佐久間晋、資本金: 450百万円

コイズミ照明株式会社(以下、当社)は環境配慮型製品創出の一環としてこのほど、当社の「ライトバー間接照明ミドルパワー」(96機種)の筐体部に、株式会社LIXIL(以下、LIXIL)の循環型低炭素アルミ材「PremiAL R70」を採用することになりましたのでお知らせいたします。

「PremiAL R70」は原材料の70%にリサイクルアルミを使用することで、原材料調達からビレット製造までのCO<sub>2</sub>排出量を、リサイクル材を使用しないアルミ材を導入した場合に比べ、約64%削減することが可能となります。



※ビレットとは、押出加工用に成形された電柱形状のアルミ材です。

※ 水色部分 (工程内アルミスクラップ～ビレット) までが、今回のCO<sub>2</sub>削減量の比較対象となります。

当社の「ライトバー間接照明ミドルパワー」は、2021年9月に従来品をダウンサイジングし、リニューアルいたしました。小型化(従来品w38×h39 → 小型化品w25×h28)することで、アルミ使用量を従来品の528gから307gに減らし、CO<sub>2</sub>排出量を約42%削減することが出来ました。※1

この度、同機種へ「PremiAL R70」を採用し、製造時のCO<sub>2</sub>排出量を更に削減することを可能にしました。同機種への採用は、本年8月生産より順次、進めてまいります。合計96機種に「PremiAL R70」を採用し、2021年9月にリニューアルした従来品と比べて約64%製造時のCO<sub>2</sub>が削減可能となります。※2

※1 環境省 廃棄物・リサイクル対策部 企画課循環型社会推進室3R原単位計算方法参照

※2 IDEA Ver2.1.3をベースに、LIXIL独自の基準で算出

<「PremiAL R70」採用のライトバー間接照明 (Indirect Light Bar) ミドルパワー>

配光	散光	中角
サイズ	幅:25mm/高:28mm	
全長	1500mm/1200mm/900mm/600mm/300mm	
色温度	2700K/3000K/3500K /4000K/5000K/調光調色(2700~5000K)	
平均演色評価指数	Ra93	
制御方式	非調光/DALI/PWM/位相	
価格(税別)	¥23,000~	¥32,500~

■「PremiAL R70」の特長

「PremiAL R70」は原材料の70%にアルミリサイクル材を使用した循環型低炭素アルミ型材です。「PremiAL R70」1kgあたりの原材料調達からピレット製造までのCO<sub>2</sub>排出量は4.6kgで、新地金を100%使用したアルミ型材のCO<sub>2</sub>排出量12.9kgと比較すると、約64%のCO<sub>2</sub>排出削減に貢献します。

アルミリサイクル率	原材料調達~ピレット製造までのCO <sub>2</sub> 排出量	0%比CO <sub>2</sub> 削減率
<b>70%</b> (PremiAL R70)	約 <b>4.6kg</b> -CO <sub>2</sub>	<b>▲64%</b>
<b>0%</b> (新地金)	約 <b>12.9kg</b> -CO <sub>2</sub>	—

※IDEA Ver2.1.3をベースに、原材料調達からピレット製造までをLIXIL独自の基準で算出。IDEA (Inventory Database for Environmental Analysis、国立研究開発法人産業技術総合研究所、一般社団法人サステナブル経営推進機構)は、サプライチェーン排出量の算定に利用可能なデータベース。

■「PremiAL R70」採用概要

商品名:ライトバー間接照明 (Indirect Light Bar) ミドルパワー

該当部位:照明器具筐体部

製造メーカー:コイズミ照明株式会社

所在地:大阪市中心区

※当社のカーボンニュートラルに向けた取り組みについて

本年5月より、住化アクリル販売株式会社がマテリアルリサイクル手法によって作られたアクリルシート「SUMIKA ACRYL SHEET™ Meguri®」(以下、「SAS Meguri®」)をセードに採用したシーリングライトを217機種ラインアップし、販売を開始しました。

「SAS Meguri®」は、アクリル樹脂の製造過程で発生した廃材を回収、選別、粉碎し、再び材料として再生させるマテリアルリサイクル手法により、リサイクル材でありながら、光の拡散性や輝度などにおいて優れた特性を有するほか、製造時に発生するCO<sub>2</sub>を40%ほど削減が可能となりました。

◆本件に関するお問合せ先◆

コイズミ照明株式会社 経営本部 経営企画部 広報室

TEL:06-6266-8141(直通)